

2月の新着本

2月 8日(土) 貸し出し開始

【一般図書】

私の家	青山 七恵	生まれ育った家、手に入れた家、記憶で組み上がる心の中の家——。いつか帰れるだろうか、ここなんだという場所に。三代にわたって描かれる「家と私」の物語
某	川上 弘美	名前も記憶もお金も持たない某は、丹羽ハルカ(16歳)に擬態することに決めた。変遷し続ける“誰でもない者”はついに仲間に出会う——。愛と未来をめぐる、破格の最新長編。
熱源 【今月のスタッフおすすめ本】	川越 宗一	北海道のさらに北に浮かぶ島、樺太(サハリン)。人を拒むような極寒の地で、時代に翻弄されながら、それでも生きていくための「熱」を追い求める人々がいた。明治維新後、樺太のアイヌに何が起こっていたのか。見たことのない感情に心を揺り動かされる、圧巻の歴史小説。第162回直木賞受賞作。
妻の終活	坂井 希久子	まもなく七十歳になる一之瀬廉太郎は家事や子育ては二歳下の妻杏子に任せきり、仕事一筋で生きてきた。ある日、妻から病院の付き添いを頼まれるがにべもなく断ってしまう。帰宅後、妻は末期がんで余命一年と宣告されたと告げる。呆然とする廉太郎に長女は「もうお母さんを解放してあげて」と泣きながら訴えるのだった——
ブルー	葉真中 顕	その怒り、その悲しみ、その絶望。なぜ殺人鬼が生まれたのか。児童虐待、子供の貧困、外国人労働者。格差社会の闇に迫る、クライムノベルの決定版！新大藪賞作家が、平成に埋もれた真実をあぶりだす！
背高泡立草	古川 真人	草は刈らねばならない。そこに埋もれているものは、納屋だけではないから——。長崎の島に暮らし、時に海から来る者を受け入れてきた一族の、歴史と記憶の物語。第162回芥川賞受賞作。
時空旅行者の砂時計	方丈 貴恵	瀕死の妻のために謎の声に従い、2018年から1960年にタイムトラベルした主人公・加茂。妻の先祖・竜泉家の人々が殺害され、後に起こった土砂崩れで一族のほとんどが亡くなった「死野の惨劇」の真相の解明が、彼女の命を救うことに繋がるという。SF設定を本格ミステリーに盛り込んだ第29回鮎川哲也賞受賞作品
カエルの小指	道尾 秀介	詐欺師から足を洗い、口の上手さを武器に実演販売士として真っ当に生きる道を選んだ武沢竹夫。しかし謎めいた中学生・キョウが「とんでもない依頼」とともに現れたことで彼の生活は一変する。キョウを救うために「超人気テレビ番組」を巻き込んだド派手な大仕掛けを計画するが…。
逃亡小説集	吉田 修一	職を失い、年老いた母を抱えて途方に暮れる男。一世を風靡しながら、転落した元アイドル。道ならぬ恋に落ちた、教師と元教え子。そして、極北の地で突如消息を絶った郵便配達員。彼らが逃げた先に、安住の地はあるのか。人生の断面を切り取る4つの物語。
Iの悲劇	米澤 穂信	一度死んだ村に、人を呼び戻す。それが「甦り課」の使命だ。日々舞い込んでくる移住者たちのトラブルを、最終的に解決するのはいつも——。徐々に明らかになる、限界集落の「現実」！そして静かに待ち受ける「衝撃」。これこそ、本当に読みたかった連作短篇集だ。

☆ NHKテレビテキスト「きょうの料理2月号」は閲覧できます。

☆ 児童図書・絵本は、別途掲示しています。

なお、3月新着本貸出日(3月14日)から貸出いたします。

